

DRIVE RECORDER

XDR-200

 WATEX

取扱説明書



このたびは、本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

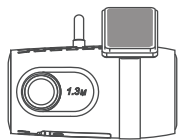
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し必要になったときに取り出せるようにしてください。
- 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

Ver1.01

もくじ

もくじ・内容物の確認	2	最初の設定 設定ファイルを使用して初期設定をする	16
お使いになる前に	3	(日時・音声録音・操作音・Gセンサー・解像度・フレームレート設定)	
安全上のご注意	4	外部モニターと接続する	18
使用上のご注意	6	設定を変更する	19
取り付け上のご注意	7	ファームウェア更新	20
各部の名称とはたらき	8	録画時間の目安	20
取り付けかた	9	microSD カードのフォーマット方法	21
配線のしかた	10	おもな仕様	23
microSD カードを入れる / 取り出す	11		
電源 ON(録画開始) / 電源 OFF(録画停止)	12		
映像を記録する	13		
常時録画 / イベント (衝撃・手動) 録画	14		
映像を再生する	15		

内容物の確認



本機

【付属品】

- 電源ケーブル (配線タイプ 5m ヒューズ 2A)
- microSD カード (8GB)
- SD カードアダプター
- microSD カードリーダー
- ケーブルクリップ (5個、貼付け用テープ付き)
- microSD スロット用Y字ネジ専用ドライバー
- 六角レンチ (カメラ角度変更用)
- 取扱説明書 / 保証書

【別売オプション品】 電源ケーブル (シガージャックタイプ)

お使いになる前に

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。本機は常時録画及び車体に受けた衝撃を検知して、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本機を正しく安全にお使い頂くために、この取扱説明書を最後までよくお読みください。またお読みになった後も大切に保管し、必要な時に取り出してお読みください。取扱説明書の内容は、商品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。最新の取扱説明書は、ホームページからダウンロードしてご利用ください。

本製品について

- 本機は常時録画及び衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源コードが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。映像が記録されなかった場合や記録された映像データが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機は事故が起きたときの検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本機で録画すると点滅したり、消灯しているように録画されることがあります。LED信号機が映らないことに際して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機で録画した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。録画した映像に関するトラブル等に際して、弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- 本機はGPSを付属していないため、ご使用前に必ず日時設定を行ってください。（16、19ページ参照）長期間使用しない場合は、日時がずれることがあります。1ヶ月に1回程度、日時設定を行ってください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

製品本体及び取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止











指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

-  本機を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。
-  運転中に本機を操作しないでください。運転中に本機を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。
-  本機を分解しないでください。本機は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。
-  本機から煙が出たり、異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源コードを抜いてください。
-  電源コードを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
-  電源コードを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。コードが傷つくと火災・感電の原因となります。
-  窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本機は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。
-  運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性があります。



本機に強い衝撃を与えたり、高い所から落とさないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本機をお手入れする場合は、電源コードを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本機が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本機を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品、ブラケットを使用してください。指定以外の部品を使用すると本機が損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。



電源ケーブルは本機付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



本機は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本機は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がON状態または、録画中にmicroSDカードを取り出すと記録データとmicroSDカードが破損する可能性があるので注意してください。



本機は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切の責任を負いません。



本機を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

使用上のご注意

製品を使用する前に取扱説明書を確認し、安全に正しくお使いください。

- 本製品は常時録画、イベント録画機能で映像を保存する方式です。
- イベント録画（手動、衝撃）のテストをして正しく録画されるか確認してからご使用ください。
- 録画中は microSD カードを取り外さないでください。
- 本製品は常時およびイベント録画方式で映像を保存するものですがすべての映像記録を保証するものではありません。
- 重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。

もしも事故が起きたら・・・

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジンを（電源を）OFF にして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

microSD カードご使用に関する注意事項

- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。
- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止し LED ランプが消灯してから行ってください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。
- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。
- microSD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成され、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータ書き込みが行われませんが繰り返しデータ記録が行われると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見掛け上の記録できる領域が減少してしまいます。通常の記録時には不良セクタは削除されませんので、安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットしてください。（21ページ参照）
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード（推奨品）への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。

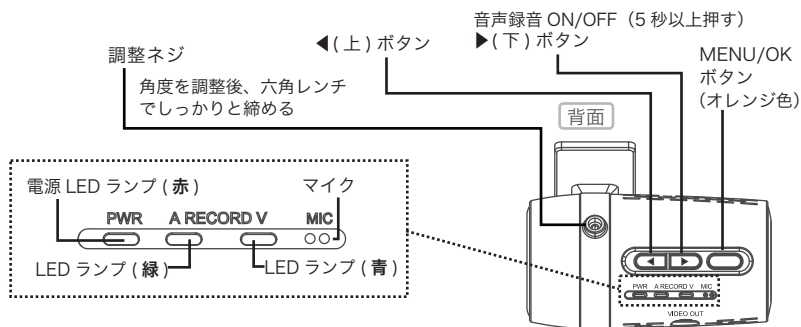
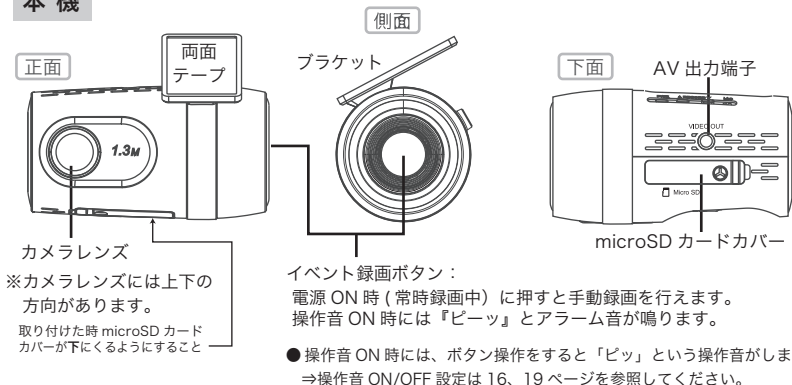
取り付け上のご注意

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 気温が低いと粘着力が弱くなります。冬季の寒い時期に取り付ける際はドライヤー等を使用して、粘着面を暖めてから貼ってください。なお、本体にはドライヤー等をかけないでください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高いときはテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなることがあります。できるだけ好天候の日に取り付けてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。
- 取り付け位置は車両フロントガラス上部で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。
- 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ラジオやテレビアンテナの近くで使用すると、ラジオ雑音やテレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

各部の名称とはたらき

本機



LED ランプ表示について

- 電源ランプ 赤消灯：電源OFF
- 電源ランプ 赤点灯：電源ON
- 電源ランプ 赤点滅：時刻設定がされていません。
- LEDランプ 青消灯：録画されていません。
- LEDランプ 青点灯：録画中
- LEDランプ 青点滅：microSDカード未挿入またはエラー
- LEDランプ 緑消灯：音声録音OFF※
- LEDランプ 緑点灯：音声録音ON ※
- LEDランプ 緑点滅：イベント(衝撃・手動)録画中



※音声録音は▶(下)ボタン約5秒間長押しでON/OFFできます。

取り付けかた

取り付け位置を確認する

●性能を十分に発揮するために、下記を守って取り付けてください。

取り付け位置

- ・ルームミラーの裏側あたり、運転席から見て視界を妨げない位置
- ・フロントガラス全体の長さから見て上部 20% 以内の位置
- ・取り付け後もルームミラーが動かせる位置
- ・付属のSDカードが容易に抜き差しできる位置
- ・雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置
- ・撮影範囲にサンシェードやフィルムがコートされていない位置
- ・地デジ等テレビのアンテナ近くには設置しないでください。
- ・本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。
- ・本機を車検シールの上に貼らないでください。

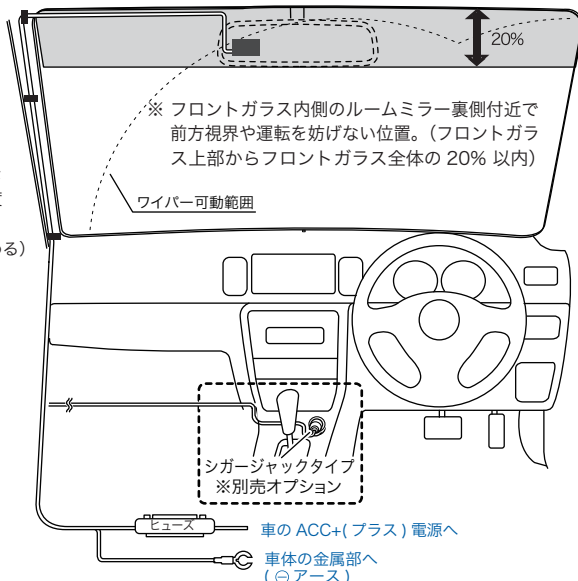
養生テープなどの貼り直しが効くテープで仮留めし、上記の点を確認してください。付属のテープは粘着力が非常に強く、貼り直しがききませんので作業は慎重に行ってください。

運転席から見て、視界を妨げない場所へ取り付けてください。



六角レンチ

六角レンチで調整ねじをゆるめて、カメラの角度を調整する。
(調整後しっかりと締める)



【配線上の注意】

- ・ケーブルクリップ等を用い、図のように適当な間隔で配線を固定してください。
- ・ドアに挟まる位置や乗員の足元等には配線しないでください。断線の原因となります。
- ・運転に支障が生じますので、車内に配線を垂れ下げのようなことはおやめください。

配線のしかた

⚠ 注意 電源ケーブル（配線タイプ）の取り付けは、専門の知識が必要になります。取り付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する

! 誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

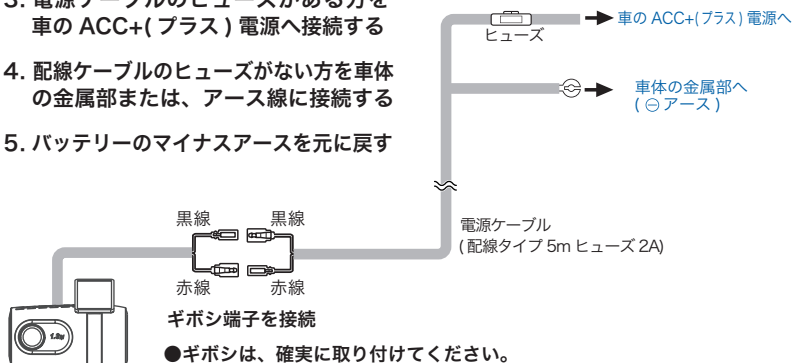
必ず、付属品や指定の部品を使用する

! 機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

【電源ケーブル(配線タイプ)配線方法】

1. 本機の黒線、赤線を電源ケーブルの黒線、赤線に接続する
2. バッテリーのマイナスアースを外す
3. 電源ケーブルのヒューズがある方を車の ACC+(プラス) 電源へ接続する
4. 配線ケーブルのヒューズがない方を車体の金属部または、アース線に接続する
5. バッテリーのマイナスアースを元に戻す

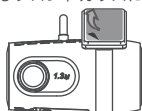
● 配線タイプの電源ケーブルの取り付けは危険を伴いますので本機を購入された販売店にご依頼ください。



【仮留め、テスト録画】

位置を決めたら、一旦録画（テスト録画）を行ってください。映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしていないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。

ブラケットの両面テープ保護フィルムをはがしフロントガラスに張り付ける



フロントガラス



microSD カードを入れる / 取り出す

! microSDカードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

- ・弊社が推奨する microSD カードを使用してください。
- ・市販品の microSD カードの中には本機で認識されなかったり録画できないことがあります。
- ・microSD カードは一方方向にしか入りません。下図のように挿入してください。
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。
- ・初めてご使用になる場合は、必ず microSDカードをフォーマットしてください。(21ページ参照)

microSD カードを入れる/ 取り出す

1. 電源OFF (挿入も取り外しも必ず電源を切ってから行ってください)

電源OFF は、車両のエンジンを切ってください。

(車両のエンジンを切る)



電源OFFにして本機のLEDランプがすべて
消灯していることを確認してください。

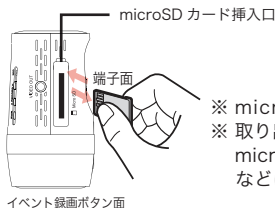
2. 付属のドライバーでmicroSDカードの カバーのネジをあける

microSD カードを抜き差しするとき以外は、
カバーを閉じておいてください。



取り外したネジは、なくさない
ように注意してください。

- ### 3. 入れる：microSD カード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込む 取り出す：microSDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



- ※ microSD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- ※ 取り出す際に手から落とさないように注意してください。
microSD カードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間
などに入り込む可能性があります。

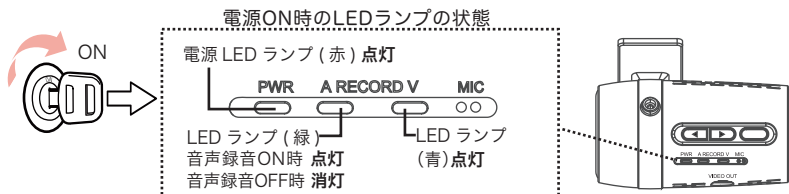
電源 ON(録画開始) / 電源 OFF(録画停止)

電源をONにする(録画を開始する)

※初めて使用するときは使用前に日時を設定してください。(16、19 ページ参照)

! microSD カードが挿入されていることを確認してからエンジンを始動してください。

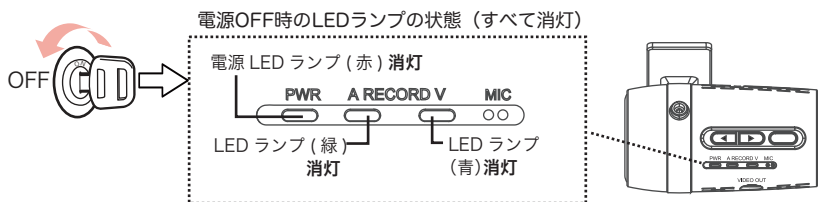
- ・車両キーをONにすると本機の電源が入り常時録画がスタート



- ・青LEDランプが点灯した時点から映像の記録を開始し、電源をOFFにするまで記録を続けます。
- ・microSDカード未挿入または、microSDカードエラーが発生すると青LEDランプが点滅します。
- ・手動または衝撃によるイベント録画中は緑LEDランプが点滅します。

電源をOFFにする(録画を停止する)

- ・車両キーをOFFにすると本機の電源が切れる



バックアップ機能

- ・録画中重大事故などの外部の衝撃によって電源が遮断されても、1秒間録画を続けます。

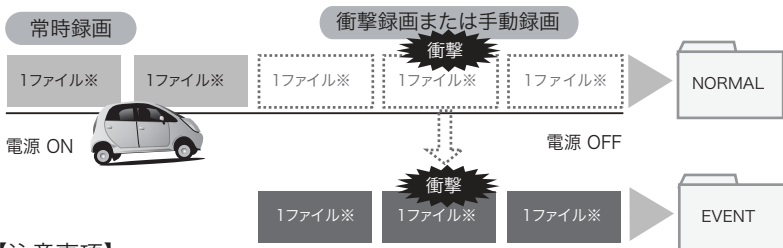
! microSD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

カード破損や、録画データ破損の原因となります。必ず、電源OFF後 LEDランプが消灯したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行ってください。

映像を記録する

本機は電源をONから電源をOFFにするまでの間、常時録画データとしてmicroSDカードのNORMALフォルダに映像を記録します。

衝撃を検出した時やイベント録画ボタンを押した時には、衝撃の瞬間のファイルと前後のファイルをEVENTフォルダに移動します。※1ファイルごとの録画時間は1分です。



【注意事項】

- ・録画中はmicroSDカードを取り外さないでください。
- ・microSDカードの容量がいっぱいになると、常時録画データの古いファイルから新しいファイルが上書きされ録画を続けます。常時録画ファイルがなくなるとイベント録画ファイルの古いものから上書きされます。定期的に必要なファイルは保存してください。
- ・起動直後にイベント録画ボタンを押しても記録されないことがあります。
- ・事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。

保存フォルダとファイル構成について

microSDカードに記録したファイルデータは、NORMAL、EVENTフォルダに分かれ自動的に管理番号がファイルに付けられます。

ファイル名は録画時刻を基準に「年月日(録画種類)時分秒.MP4」の形式で表示されます。

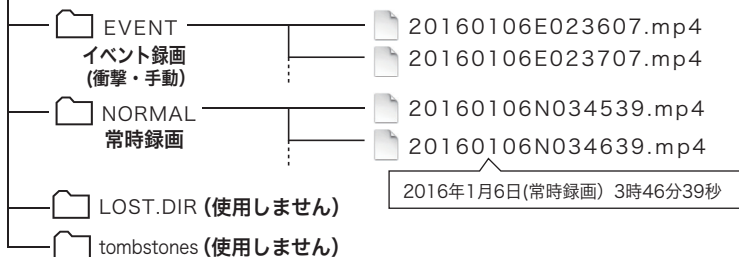
(ファイル名構成) YYYYMMDD E/N HHMMSS.mp4

年 月 日 | 時 分 秒

E: イベント
N: ノーマル(常時録画)



(ファイル構成例)



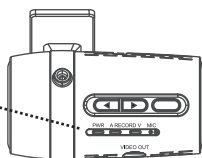
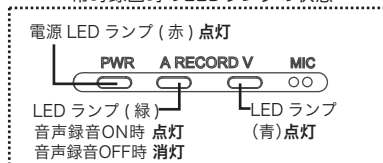
常時録画 / イベント（衝撃・手動）録画

エンジンをかけた時点から1ファイル1分の録画データが連続して記録されます。

常時録画

- ・エンジンをかけて電源がONになると自動で常時録画がスタート
- ・エンジンを切ると電源がOFFになり録画が停止

常時録画時のLEDランプの状態



イベント録画

衝撃の瞬間の録画ファイルと前後の録画ファイルがEVENTフォルダへ保存されます。

【衝撃を検知したとき】

青LEDランプが点灯している時（常時録画中）衝撃を検知すると「ピーツ」とアラーム音が鳴り、緑LEDランプが点滅し、イベント録画となります。

※操作音の設定をオフにした場合、アラーム音は鳴りません。

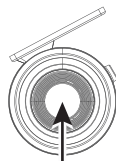
※衝撃の検知はGセンサー設定で感度を変更できます。（16～17、19参照）

【手動録画】

- ・青LEDランプが点灯している時（常時録画中）
イベント録画ボタンを押す

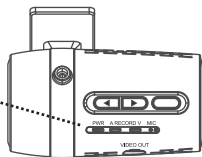
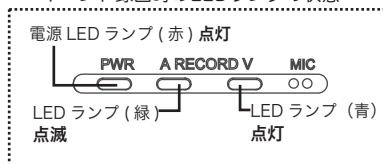
「ピーツ」とアラーム音が鳴り、緑LEDランプが点滅しイベント録画となります。

※操作音の設定をオフにした場合、アラーム音は鳴りません。



イベント録画ボタン

イベント録画時のLEDランプの状態



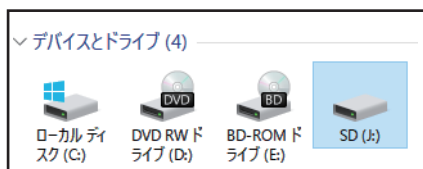
microSDカードの容量がいっぱいになると、常時録画データの古いファイルから新しいファイルが上書きされ録画を続けます。常時録画ファイルがなくなるとイベント録画ファイルの古いものから上書きされます。定期的に必要なファイルは保存してください。

映像を再生する

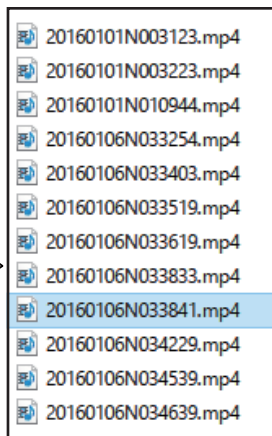
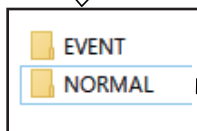
映像再生

本機で録画した映像は、MP4 ファイルで保存されているので、Windows7 以降に搭載されている Windows Media Player などでも再生することができます。

1. microSD カードカバーを開け、microSD カードを取り出す (11 ページ参照)
※ LED ランプが消灯していることを確認してから取り出してください。
2. 付属のカードリーダーまたはカードアダプターを使用してパソコンへ挿入する
3. microSD カードが挿入されているドライブを選択して映像を確認する



EVENT : イベント録画フォルダ
NORMAL : 常時録画フォルダ



常時録画ファイル



- 大切なデータがある場合はパソコンなどにあらかじめ保存してください。
- 定期的にmicroSDカードをフォーマットしてください。(21ページ参照)

最初の設定 設定ファイルを使用して初期設定をする

各種設定 (日時・音声録音・操作音・Gセンサー・解像度・フレームレート設定)

※必ず初めに日時を設定して本機を使用してください。

「parameter.cfg」という設定ファイルで日時、音声録音、操作音、Gセンサー、解像度、フレームレート設定を変更できます。フォーマットした (21ページ参照) microSDカードに「parameter.cfg」ファイルを保存して、本機に読み込むことによって各設定ができます。設定ファイルを一度読み込むとファイルが消えてしまうのであらかじめパソコンなどに保存してください。

1. microSDカードに保存されている「parameter.cfg」ファイルをパソコンに保存する
出荷時にmicroSDカードの中に「parameter.cfg」ファイルが保存されています。
誤って消してしまった場合は、弊社ホームページからダウンロードしてください。

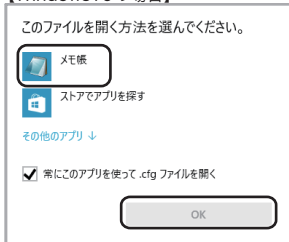
2. 「parameter.cfg」ファイルをパソコンのメモ帳などで開く



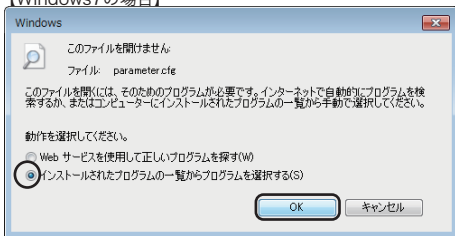
Windows付属のメモ帳などで「parameter.cfg」という名称の設定ファイルを開きます。



【Windows 10の場合】



【Windows 7の場合】



3. 「parameter.cfg」ファイルの設定値を書き換えmicroSDカード※に保存する

※ あらかじめ microSD カードは、フォーマットしておいてください。(21 ページ参照)

「parameter.cfg」で、下記の6項目の設定が行えます。

ファイルの□部分の数字を書き換えることで設定値が変更できます。「=」以降を書き換える

```
parameter.cfg - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
##### 注意 変更する箇所は current = 後の半角英数字のみ #####

##### 音声録音 0(オフ) 1(オン) #####
[recordsound]
current=□.....①

##### 操作音 0(オフ) 1(オン) #####
[silence]
current=□.....②

##### 日付設定 年/月/日/時/分/秒 #####
[systemtime]
current=2017/01/01/01/01/01.....③

##### Gセンサー設定 low(低)、middle(中)、high(高) #####
[testsensor]
current=high.....④

##### 解像度設定 1080(1080P)、720(720P)、vga(VGA)、qvga(QVGA) #####
[videoquality]
current=1080.....⑤

##### フレームレート設定 23(23fps)、30(30fps) #####
[fps]
current=30.....⑥
```

No.	設定項目	記載できる文字列	内容
①	音声録音オン/オフ設定	0、1	0(音声録音オフ)または1(音声録音オン)を入力
②	操作音オン/オフ設定	0、1	0(操作音オフ)または1(操作音オン)を入力
③	日時設定	YYYY/MM/DD/HH/MM/SS	内蔵時計の日付を設定します。(年/月/日/時/分/秒) 【例】(2017年1月1日10時30分00秒の場合) 2017/01/01/10/30/00
④	Gセンサー設定	low、middle、high	感度 low(低)、middle(中)、high(高)のいずれかを入力
⑤	解像度設定	1080、720、vga、qvga	解像度 1080(1080P)、720(720P)、vga(VGA)、qvga(QVGA)のいずれかを入力 いずれも半角英数、英語は小文字
⑥	フレームレート設定	23、30	フレームレート 23(23fps)、30(30fps)のいずれかを入力

※ 入力可能な文字は半角英数字のみです。空白は入れないでください。全角の英数字は入力しないでください。空白、全角文字を使用した場合は、本機起動時に不正ファイルと認識されて設定できません。設定値を入力した「parameter.cfg」ファイルをフォーマットした microSD カードに保存します。ファイル名「parameter.cfg」は、変更しないでください。変更した場合、設定できません。

4. 設定を保存したmicroSDカードを本機に挿入して電源をいれる(エンジンをかける)

本機は起動時にこの設定情報を読み込み適用します。

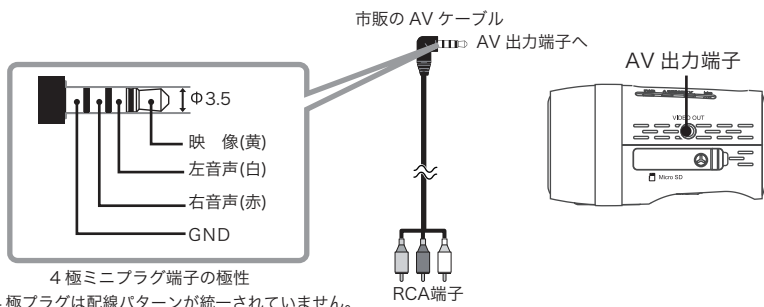
(重要) ※ 日時を設定した時間に電源をいれてください。

※ 設定した日時は保持されますが常に正確な日時情報で映像を記録するために1ヶ月に一度は日時を設定し直すことをお勧めします。

外部モニターと接続する

市販の AV ケーブルを使用して外部モニターに接続する

本機の AV 出力端子に市販の AV ケーブルを接続することで外部モニターで録画中の映像を確認したり、録画した映像を再生したり、本機の各種設定を変更することができます。市販の AV ケーブルは、下記仕様に沿った 3.5 φ (4 極) ミニプラグ を使用してください。ケーブルによって極性が異なることがあります。



設定メニューの操作

※設定メニューの項目は次ページで確認してください。
* 長押しは約5秒間



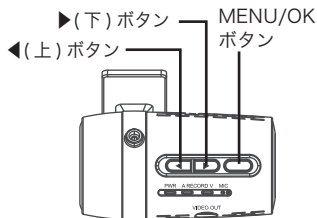
市販の AV ケーブルを使用して外部モニターと接続すると現在録画中の映像が外部モニターに表示されます。MENU/OK ボタンを 5 秒以上押しと外部モニターに設定メニュー 1 が表示されます。もう一度、5 秒以上 MENU/OK ボタンを押すと設定メニュー 2 が表示されます。

設定メニューは

◀(上)▶(下) ボタンで左右移動

◀(上)▶(下) ボタンで上下移動

MENU/OK ボタンで選択します。





※30 秒以上、ボタン入力がない場合は設定メニューから録画中の映像表示に戻ります。

設定を変更する

設定メニューで下記の項目の設定を変更することが可能です。

また、設定メニューから録画ファイルの確認をしたり、microSDカードのフォーマット、ファームウェア更新、本機を初期設定に戻すことができます。

設定メニューの項目 ●メニュー画面表示中は録画できません。

画面	項目 / (初期値)	選択可能な設定	説明
 設定 メニュー1	解像度 (1080P)	1080P / 720P VGA / QVGA	録画する解像度を選択
	フレームレート (30fps)	30fps / 23fps	フレームレートを選択
	日付表示 (☑表示)	☑ 表示/非表示	録画映像に日付を表示 / 非表示
	録画ファイル		録画映像を外部モニターに再生
	操作方法	◀▶ボタンで録画ファイルを選択、MENU/OKボタンで再生します。 ▶(下)ボタンを約5秒間長押しすると録画ファイルが削除されます。	
 設定 メニュー2	Gセンサー (中)	低 中 高	車両の衝撃を検出する感度を選択 低 (大きな衝撃で検知) 中 (標準) / 高 (小さな衝撃で検知)
	音声録音 (☑ON)	☑ ON/OFF	音声録音のON/OFFを選択
	操作音 (☑ON)	☑ ON/OFF	ボタン操作音、イベント録画のアラーム音のON/OFFを選択 *個別には設定できません。
	周波数 (50Hz)	東日本 50Hz 西日本 60Hz	東日本では50Hz、西日本では60Hzを選択 (記録している地域の商用周波数に合わせてください)
	フォーマット	—	microSDカードのフォーマット
	日付 ※	yyyy/mm/dd hh:mm:ss	日時の設定
	工場出荷時の設定を復元します。	—	本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	ファームウェア更新	—	本機のファームウェアのバージョンを表示、ファームウェアを更新 (次ページ参照)

※設定した日時は保持されますが常に正確な日時情報で映像を記録するために1ヶ月に一度は日付を設定し直すことをお勧めします。

ファームウェア更新 / 録画時間の目安

ファームウェア更新方法

本機のシステムファームウェアを更新します。
アップデートに関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。
ファームウェア更新ファイルをダウンロードすることで本機をアップデートすることが出来ます。アップデートファイルの準備がない場合、掲載はありません。

1. microSD カードにファームウェア更新ファイルをコピーする
2. 本機に microSD カードを挿入する (11 ページ参照)
3. 市販の AV ケーブルを使用して外部モニターに接続する (18 ページ参照)
4. 本機の電源を ON にする (12 ページ参照)
5. MENU/OK ボタン長押しを2回繰り返し、設定メニュー 2 を表示する
※長押しは約5秒間
6. ◀▶ ボタンでファームウェア更新を選択し、MENU/OK ボタンで決定する
「ファームウェアを更新しますか」と表示されるのでOKを◀▶ボタンで選択し、MENU/OKボタンで決定します。(現在のバージョンが画面左に表示されています)
7. ファームウェアの更新を行う
モニターに更新情報が表示されます。ファームウェアの更新には、数分かかる場合があります。アップデート中は本機の電源をオフしたり、microSDカードを取り出さないでください。
※更新終了後、画面左に新しいバージョンが表示されていることを確認してください。

録画時間の目安

記録時間はmicroSDカードの容量、お使用の状況、解像度設定により大きく変動します。
下記表を参考にしてください。※対応microSDカード：8GB～32GB (class10 以上推奨)

録画	フレームレート	microSDカード	解像度			
			1080P	720P	VGA	QVGA
常時録画 + 衝撃録画	30fps	8GB	約1時間30分	約2時間40分	約6時間40分	約13時間
		16GB	約3時間10分	約5時間20分	約13時間20分	約26時間
		32GB	約6時間20分	約11時間	約27時間	約52時間
	23fps	8GB	約2時間30分	約4時間10分	約10時間30分	約20時間
		16GB	約5時間	約8時間20分	約21時間	約40時間
		32GB	約10時間	約17時間	約42時間	約80時間

microSD カードのフォーマット方法

microSD カードには書き込み可能回数の上限があります。ドライブレコーダーは高画質で容量の大きい動画データを常時書き込みますので、他製品での利用よりも消耗が激しくなります。書き込み可能回数の上限に近づくと、書き込みの不具合などが発生する恐れがあります。そのため、定期的にフォーマットをしてください。

microSDカードフォーマット方法

1. 本機に microSD カードを挿入する (11 ページ参照)
2. 本機の電源を ON にする (12 ページ参照)
電源 LED ランプ (赤) が点灯していることを確認する
3. MENU/OK (オレンジ) ボタンを 10 秒長押しする
(電源投入後、約 10 秒後からボタン操作してください)



4. 再び MENU/OK (オレンジ) ボタンを 10 秒長押しする



5. ▶ ボタンを 4 回押す (短押し)



6. MENU/OK (オレンジ) ボタンを押す (短押し)



7. ◀ ボタンを 1 回押す (短押し)



8. MENU/OK (オレンジ) ボタンを押す (短押し)

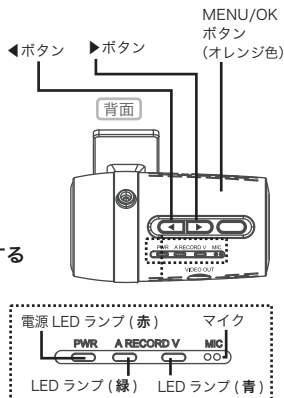


※フォーマットに成功していれば「ピッピッピ」と音が鳴り、LEDランプ (赤・緑・青) が 3 回点滅します。失敗した場合は、電源を OFF にして手順 1. からやり直してください。

9. 電源を OFF にする

microSD カードは 1 ~ 2 週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。フォーマットを全くしないでご使用し、事故映像等が記録されない場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

フォーマットをしても異常が起こる・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、microSD カードを交換してください。microSD カードの寿命は概ね 3 ヶ月から 1 年程度です。(ドライブレコーダーのご使用状況 (ご使用時間) により microSD カードの寿命は変動します。この期間、また本機の保証期間でカードの寿命を保証するものではありません) また 1 年を経過したものはたとえ問題が無くても交換されることをお勧めします。



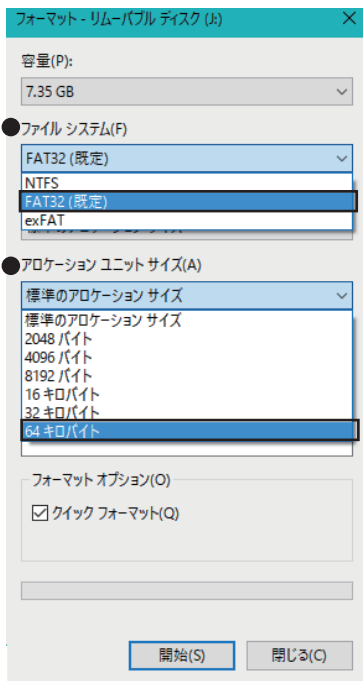
パソコン上でmicroSDカードのフォーマットを行う場合 ※

※ microSD カードは本機でフォーマットを行うことを推奨しますが (21 ページ参照) 万が一パソコンでフォーマットする場合は、下記の通りの設定で行ってください。

お使いのパソコンに microSD カードを挿入し microSD カードを右クリックで選択し、フォーマットを左クリックすると下記のウィンドウが開きます。ファイルシステム (F) を「FAT32 (既定)」、アロケーションユニットサイズ (A) を「64 キロバイト」と右記の通り選択してからフォーマットしてください。

この方法以外でパソコン上でフォーマットされた microSD カードは下記の動作をします。

ドライブレコーダーの電源起動時「ピッピッピッ」という音と3色のLEDランプが3回点滅して自動的にmicroSDカードがフォーマットされます。



- 各種設定 (日時設定など) をしていた場合は反映されないのご注意ください。
- 録画ファイルはあらかじめ定期的に保存してください。
- パソコン上でフォーマットをするとデータが読み書きできなくなる場合があります。

おもな仕様

製品仕様

外形寸法	約73 (W) ×41 (H) ×41 (D) mm	重量	約69g
カメラ	約130万画素、カラーCMOS	カメラ画角	対角120° 水平92° 垂直56°
映像出力	1V±0.2Vp-p(@75Ω) ※本体にAV出力ポート	映像保存形式	MPEG-4 (H.264)
記録方式	常時録画、イベント録画(Gセンサー、手動)		
イベント録画	衝撃を検知したファイルとその前後のファイル(1衝撃で3ファイルを記録)		
録画ファイル構成	1ファイル約1分	電源バックアップ	電源断後約1秒間保証
録画解像度	1080P (1980×1080) / 720P (1280×720) / VGA(640×480) / QVGA(320×240)		
録画フレーム	23fps、30fps	音声録音	ON/OFF可能
スピーカー出力	ON/OFF可能	記録データ	録画、録音、日時
Gセンサー	有り(低、中、高)3段階調整	GPSセンサー	なし
電源電圧	12V / 24V (9V~36V)	消費電力	約250mA(Max.)
動作温度	-20°C ~ +65°C	保存温度	-30°C ~ +85°C
SDカード保護	あり(ネジ止め式ロック機能、ネジ脱落防止機能付き)		
付属microSD	8GB class10 MLCタイプ	対応microSD	8GB ~ 32GB (Class10)
日時設定保持	約30日間		
PC環境	Windows Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10		
付属品	電源ケーブル(配線タイプ5m ヒューズ2A)、microSDカード(8GB)、SDカードアダプター、microSDカードリーダー、ケーブルクリップ(5個、貼付け用テープ付き) microSDスロット用Y字ネジ専用ドライバー、六角レンチ(カメラ角度変更用) 取扱説明書、保証書		
オプション	電源ケーブル(シガージャックタイプ5m ヒューズ2A)		

※商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

・パソコン使用環境は全てのタイプで動作を保証するものではありません。

◆内蔵バッテリー(日時保持機能などに使用)の充電について

商品出荷時には検査用予備充電しかされていませんので、長期間充電しない状態が続くと内蔵バッテリーが自然放電している場合があります。初めてご使用になる時はしばらく走行して充電を行なってください。約5時間以上の起動で満充電となります。充電を断続的に行う場合は、目安として1日1時間程度の走行で約1週間で満充電となります。




株式会社ワテックス

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

URL <http://www.watex-net.com/>

お客様サポートセンター係

 **0120-25-3930**

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30
(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く弊社営業日)